

2024年度版(2023年度実績分) 健康スコアリングレポート

* 本レポートは、2021～2023年度のデータに基づいて作成しています。

貴組合の業態

機械器具製造業

健保組合の保健事業が健康課題の解決策に！

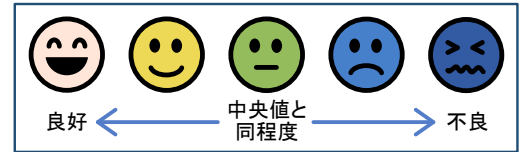
本レポートでは、事業主と健保組合のコミュニケーションの一助となるよう、予防・健康づくりの取組状況や健康状況等を可視化しています。経営者においては、企業の財産である従業員等の健康を守るために、健保組合と連携した従業員等の予防・健康づくりの取組のさらなる推進にご活用ください。なお、健康状況等に関する詳細情報は健保組合にお問い合わせください。



【本レポートで使用する用語の定義】

「組合」及び「健保組合」：健康保険組合 / 「全組合」：全健康保険組合 /
 「医療費」：年間医療費 / 「特定健診」：特定健康診査 /
 「業態」：健康保険組合における業態 (29分類)

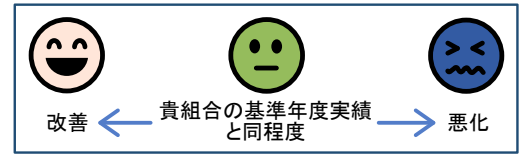
■ 判定基準値(全組合平均を100とした場合)



【本レポートにおける顔マーク】

顔マークの詳細については、健康スコアリングレポート参考資料P14・P15「(参考)各指標の算出方法」をご参照ください。

■ 判定基準値(貴組合の基準年度実績を100とした場合)



貴組合の特定健診・特定保健指導の実施状況

特定健診・特定保健指導

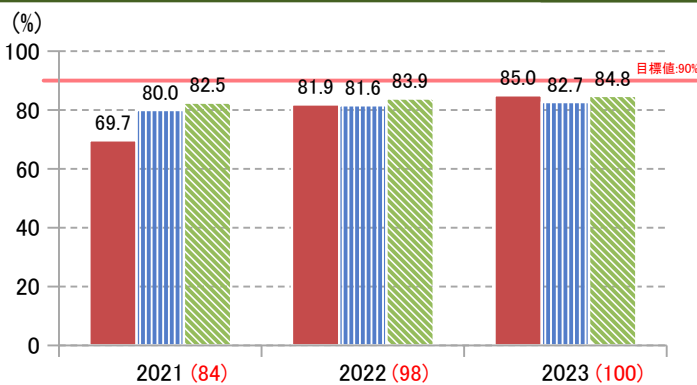
総合判定



単一 組合順位 893位 / 1,119組合
 全組合順位 1,067位 / 1,374組合

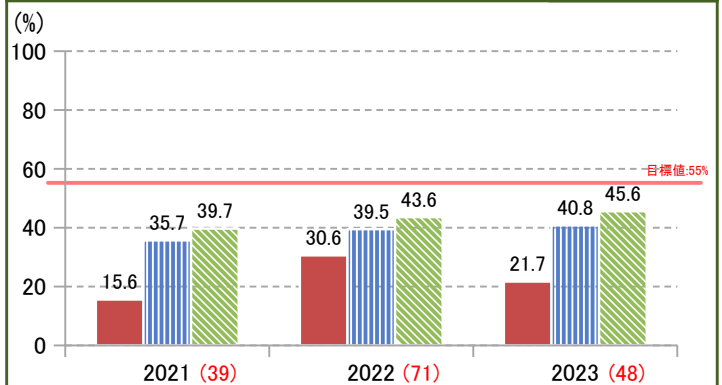
特定健診の実施率

1ランクUPまで(*1) あと11人



特定保健指導の実施率

1ランクUPまで(*1) あと11人

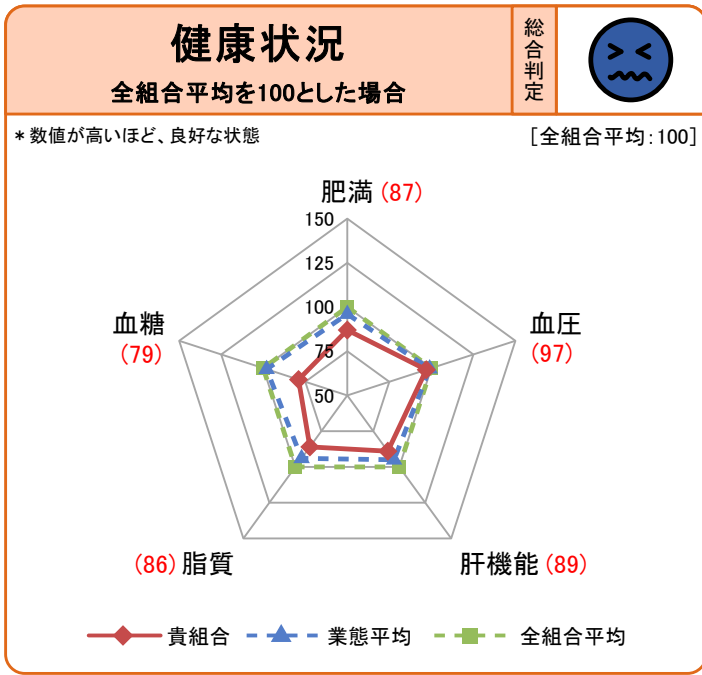


特定健診の実施率	2021	2022	2023
貴組合	69.7%	81.9%	85.0%
	1,090位 / 1,127組合	758位 / 1,123組合	617位 / 1,119組合
業態平均	80.0%	81.6%	82.7%
単一組合平均	82.5%	83.9%	84.8%






特定保健指導の実施率	2021	2022	2023
貴組合	15.6%	30.6%	21.7%
	926位 / 1,127組合	684位 / 1,123組合	903位 / 1,119組合
業態平均	35.7%	39.5%	40.8%
単一組合平均	39.7%	43.6%	45.6%

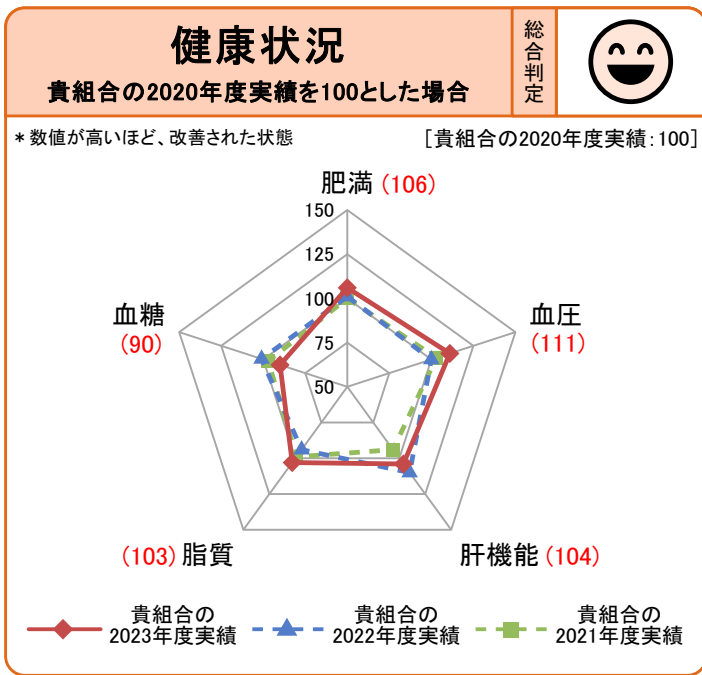
※ 目標値は、第3期(2018～2023年度)特定健康診査等実施計画期間における保険者種別目標。
 ※ 順位は、保険者種別(単一・総合)目標の達成率の高い順にランキング。
 ※ ()内の数値は、単一組合平均を100とした際の貴組合の相対値。
 ※ (*1)「ランクUP」は、5段階評価のランクを1つ上げるための目安(実施人数)を記載。

■ 貴組合 ■ 業態平均 ■ 単一組合平均



※ 2023年度に特定健診を受診した者のみのデータを集計。

健康状況の経年変化		2021	2022	2023	
肥満	貴組合	82	83	87	
	業態平均	95	95	96	
血圧	貴組合	89	87	97	
	業態平均	98	98	99	
肝機能	貴組合	83	93	89	
	業態平均	94	94	95	
脂質	貴組合	85	79	86	
	業態平均	93	93	94	
血糖	貴組合	84	88	79	
	業態平均	99	99	98	



健康状況の経年変化		2021	2022	2023	
肥満	貴組合	100	101	106	
血圧	貴組合	103	100	111	
肝機能	貴組合	94	110	104	
脂質	貴組合	99	94	103	
血糖	貴組合	97	101	90	

【コラム】血糖コントロール不良者に積極的アプローチを!

HbA1cの検査結果を分類すると、正常値以外の者が全体の43.7%を占めており、服薬ありの場合でもHbA1cの値が高い者がいます。糖尿病は初期症状がほとんどありませんが、HbA1cが高くなるほど動脈硬化が進み、狭心症や心筋梗塞、脳梗塞やくも膜下出血になるリスクが高くなります。また、三大合併症として、網膜症、腎症、神経障害があり、失明や透析につながる病気でもあります。健診受診者のHbA1cの検査結果を確認し、服薬の有無にかかわらず、高値の者には積極的に受診勧奨・重症化予防の取組を実施しましょう。

※ 2022年に特定健診を受診した者のうち、HbA1cの検査結果がある者1,232万人を対象に集計

HbA1c検査値の各区分における服薬の有無別構成割合

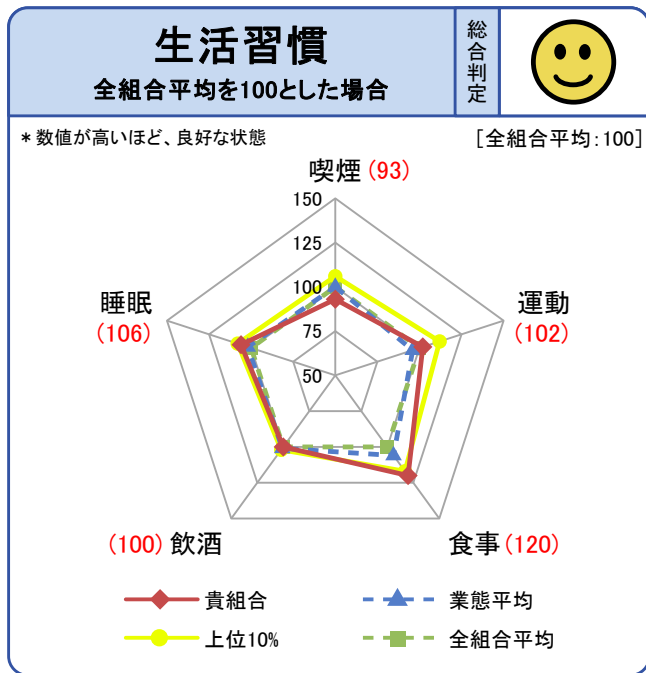
区分		服薬なし	服薬あり	合計
HbA1cの検査結果がある者		95.1%	4.9%	100%
糖尿病型の者	7.0%以上(※)	1.0%	2.3%	3.3%
	6.5%~6.9%	1.3%	1.2%	2.6%
境界型の者		7.3%	0.9%	8.2%
正常高値の者		29.2%	0.3%	29.5%
正常値の者		56.2%	0.1%	56.3%






※治療中の患者に対しては、合併症予防の観点からHbA1cのコントロール目標は7.0%未満とされている。(「糖尿病診療ガイドライン2024」より)

貴組合の生活状況（適正な生活習慣を有する者の割合）

全加入者分

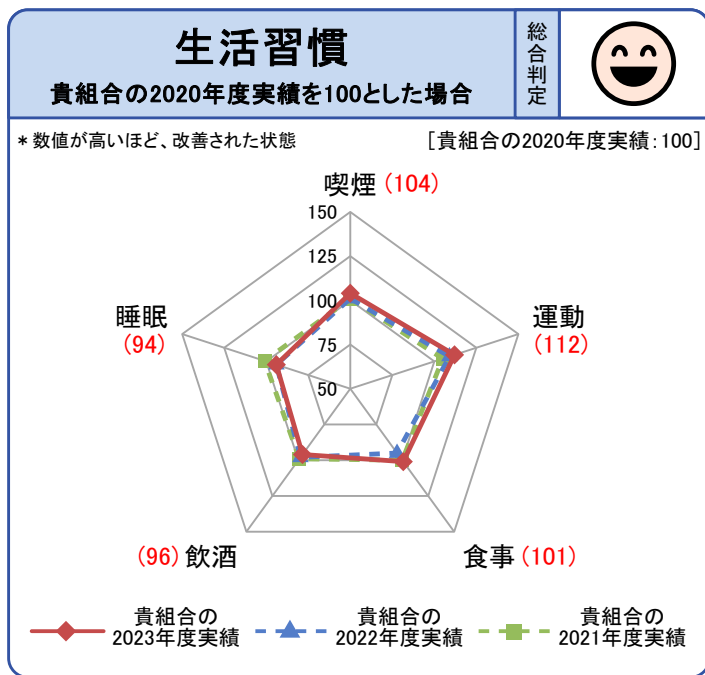
※ 生活習慣データについては、一部任意項目であるため、保険者が保有しているデータのみで構成。



生活習慣の経年変化		2021	2022	2023	ランクUPまで (*1)
喫煙	貴組合	92	91	93	 あと14人
	業態平均	100	100	100	
	上位10%	107	107	106	
運動	貴組合	102	102	102	 あと8人
	業態平均	95	96	96	
	上位10%	110	111	112	
食事	貴組合	117	113	120	 最上位です
	業態平均	106	106	106	
	上位10%	117	116	117	
飲酒	貴組合	103	102	100	 あと2人
	業態平均	100	101	101	
	上位10%	102	101	102	
睡眠	貴組合	110	104	106	 あと2人
	業態平均	101	102	102	
	上位10%	108	110	108	

※ 2023年度に特定健診を受診した者のみのデータを集計。

※ 上位10%は業態ごとの「総合スコア」上位10%の平均値を表す。ただし、業態内の組合数が20以下の場合は、全組合の「総合スコア」上位10%の平均値を表示。
 (*1) “ランクUP”は、5段階評価のランクを1つ上げるための目安(リスク対象者を減らす人数)を記載。



生活習慣の経年変化		2021	2022	2023	
喫煙	貴組合	101	101	104	
運動	貴組合	105	109	112	
食事	貴組合	100	95	101	
飲酒	貴組合	99	98	96	
睡眠	貴組合	101	94	94	

【コラム】肥満を予防・改善するために食事習慣を見直しましょう！

肥満の予防・改善には食事習慣や運動習慣などを見直すことが有効とされています。食事習慣に着目した場合、食事習慣に関する質問票4項目について「適切でない」に該当する項目数別にBMIが25以上である者の割合をみると、項目数が2項目以上に増加するにつれて割合も増加しています。

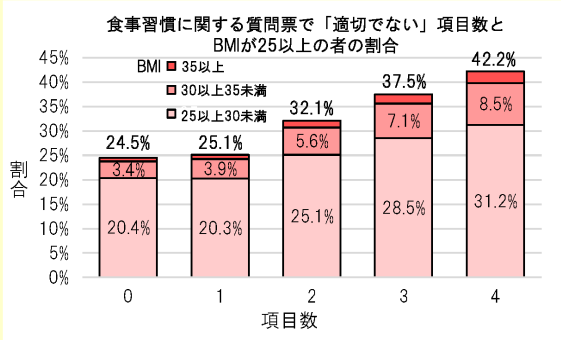
肥満は糖尿病や脂質異常症、高血圧症、心血管疾患などの生活習慣病をはじめとした数多くの疾患のリスクを高めます。

肥満を予防・改善するために、食事習慣を見直すよう働きかけましょう。

※ 2022年度に特定健診を受診した者のうち、食事習慣に関する質問票に回答した者約1,169万人を対象に集計

※ 食事習慣に関する質問票4項目のうち、下線部の回答を選択すると「適切でない」に該当する

- ・人と比較して食べる速度が速い：「速い」「普通」「遅い」
- ・就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある：「はい」「いいえ」
- ・朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか：「毎日」「時々」「ほとんど摂取しない」
- ・朝食を抜くことが週に3回以上ある：「はい」「いいえ」



(注)【本レポートにおけるデータ対象】

・医療費：全加入者 / 特定健診(健康状況・生活習慣)：40歳～74歳。

・データが存在しない場合、非表示。計算不能の場合「-」を表示。

健康状況・生活習慣・医療費は、対象となる加入者数50名未満の場合「×」を表示。

・2024年4月1日以前に合併のあった組合の2023年度分の医療費については、合併前の各組合のデータを合算して表示。

1人あたり医療費と性・年齢補正後標準医療費の推移

医療費

参考：医療費総額(2023年度)

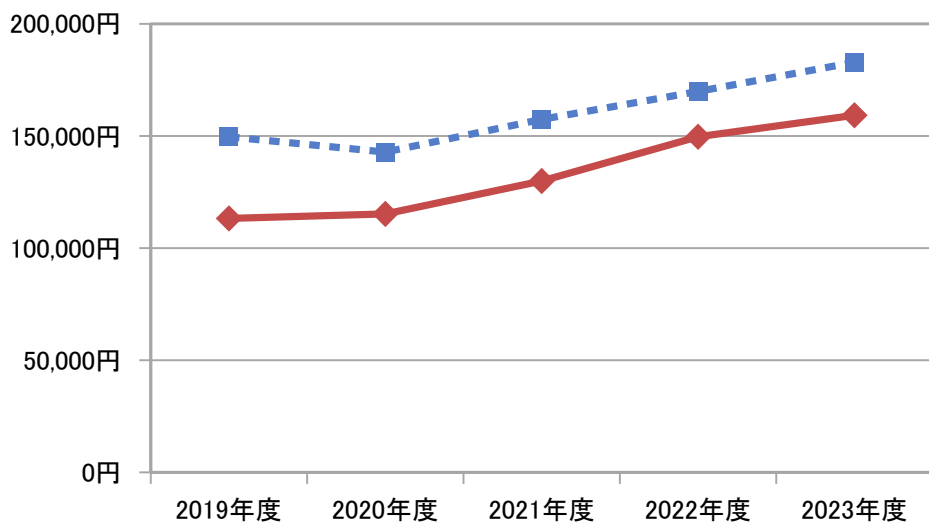
貴組合
155百万円

◆ 1人あたり医療費

性・年齢補正をしていない貴組合の総医療費を貴組合の加入者数で除した医療費。

■ 性・年齢補正後標準医療費

全組合平均の性・年齢階級別1人あたり医療費を、貴組合の性・年齢階級別加入者数に当てはめて算出した1人あたり医療費。



	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
1人あたり医療費	113,239円	115,251円	129,932円	149,659円	159,245円
性・年齢補正後標準医療費	149,642円	142,835円	157,413円	169,870円	182,876円

【貴組合の1人あたり医療費(2023年度)】

貴組合	性・年齢補正後標準医療費	性・年齢補正後組合差指数
159,245円	182,876円	0.87

参考：貴組合の男女別・年代別1人あたり医療費(2023年度)

	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代
貴組合	150,085円	173,319円	54,220円	88,571円	123,827円	168,979円	600,674円
業態平均	178,776円	195,949円	101,485円	133,980円	162,051円	237,486円	355,500円
全組合平均	180,887円	193,725円	103,629円	141,346円	166,931円	239,107円	358,956円

※性・年齢補正後組合差指数とは、医療費の組合差を表す指標として、1人あたり医療費について、加入者の性・年齢構成の相違分を補正し、全組合平均を1として指数化したもの。指数が1より高いほど、全組合平均と比較して性・年齢補正後の医療費が高い傾向であることを示す。具体的な算出方法は、参考資料巻末「各指標の算出方法」及び「健康スコアリング活用ガイドライン」を参照。

貴組合の後発医薬品の使用割合

貴組合の後発医薬品の使用割合(数量シェア)の推移

	2020年 3月診療分	2021年 3月診療分	2022年 3月診療分	2023年 3月診療分	2024年 3月診療分
後発医薬品の使用割合	74.5%	78.4%	78.4%	80.6%	83.6%

※実績年度の集計値ではなく、3月診療分の集計値。

健康スコアリングレポート【レポート本紙】

2024年度版

(2023年度実績分)

厚生労働省 日本健康会議 経済産業省

(06141543) 油研工業株式会社 様 個別事業所 本社分 2024年度版(2023年度実績分) 健康スコアリングレポート

* 本レポートは、2021~2023年度のデータに基づいて作成しています。

貴事業所の業態

機械器具製造業

健保組合の保健事業が健康課題の解決策に！

本レポートでは、事業主と健保組合のコミュニケーションの一助となるよう、予防・健康づくりの取組状況や健康状況等を可視化しています。経営者においては、企業の財産である従業員等の健康を守るために、健保組合と連携した従業員等の予防・健康づくりの取組のさらなる推進にご活用ください。なお、健康状況等に関する詳細情報は健保組合にお問い合わせください。



【本レポートで使用する用語の定義】

- 「特定健診」: 特定健康診査 / 「業態」: 事業所における業態(43分類) / 「全事業所」: 特定健診の対象となる被保険者数10名以上の事業所 / 「所属保険者」: 被保険者数10名未満の事業所も含めて算出する所属保険者の被保険者の平均 / 「所属保険者の全事業所平均」: 事業所レポート作成対象(特定健診の対象となる被保険者数10名以上)の事業所のみで算出する平均

【本レポートにおける顔マーク】

顔マークの詳細については、事業主単位の健康スコアリングレポート活用の手引き「(参考)各指標の算出方法」(参考)事業主単位の健康スコアリングレポートにおける判定基準値表」をご参照ください。

■判定基準値(全事業所平均を100とした場合)



■判定基準値(貴事業所の基準年度実績を100とした場合)



貴事業所の特定健診・特定保健指導の実施状況

特定健診・特定保健指導

総合判定



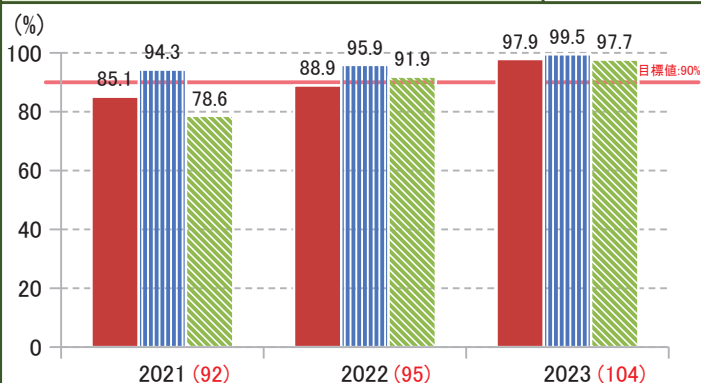
業態別順位

2,168位 / 5,126事業所

特定健診の実施率

1ランクUPまで(*1)

あと4人

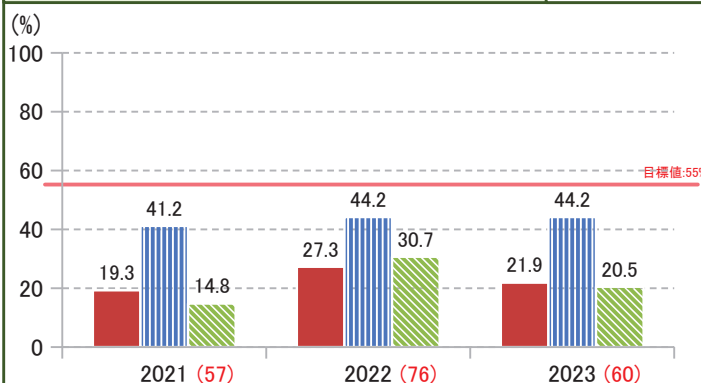


特定健診の実施率	2021	2022	2023
貴事業所	85.1%	88.9%	97.9%
	2,661位 / 3,030	2,905位 / 3,387	2,211位 / 5,213
業態平均	94.3%	95.9%	99.5%
所属保険者	78.6%	91.9%	97.7%

特定保健指導の実施率

1ランクUPまで(*1)

あと1人



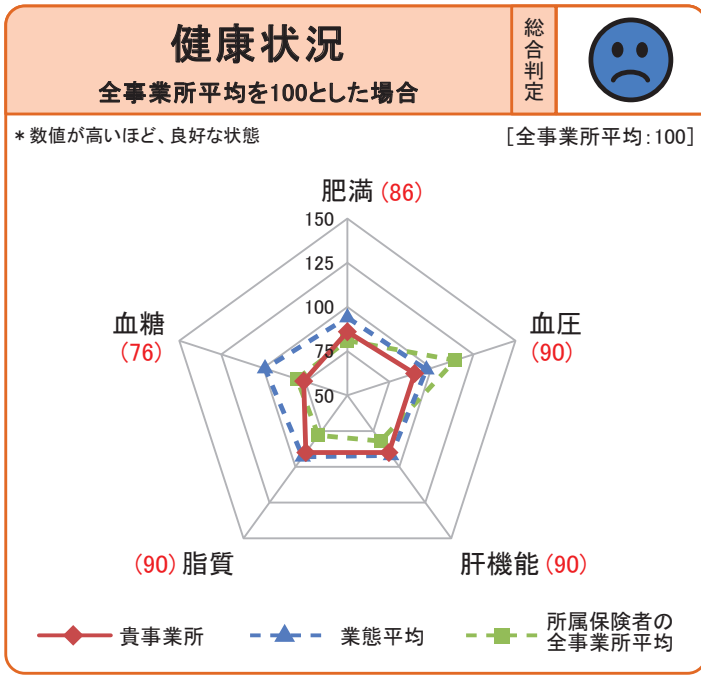
特定保健指導の実施率	2021	2022	2023
貴事業所	19.3%	27.3%	21.9%
	1,392位 / 3,010	1,362位 / 3,365	2,030位 / 5,126
業態平均	41.2%	44.2%	44.2%
所属保険者	14.8%	30.7%	20.5%

※ 目標値は、第3期(2018~2023年度)特定健康診査等実施計画期間における所属する保険者の種別目標。
 ※ 順位は、業態ごとに事業所のスコアの低い順にランキング。
 ※ ()内の数値は、全事業所平均を100とした際の貴事業所の相対値。
 ※ なお、被扶養者(家族)を含む加入者全体の目標である。
 ※ (*1)「ランクUP」は、5段階評価のランクを1つ上げるための目安(実施人数)を記載

■ 貴事業所 ■ 業態平均 ■ 所属保険者





貴事業所の健康状況(生活習慣病リスク保有者の割合)

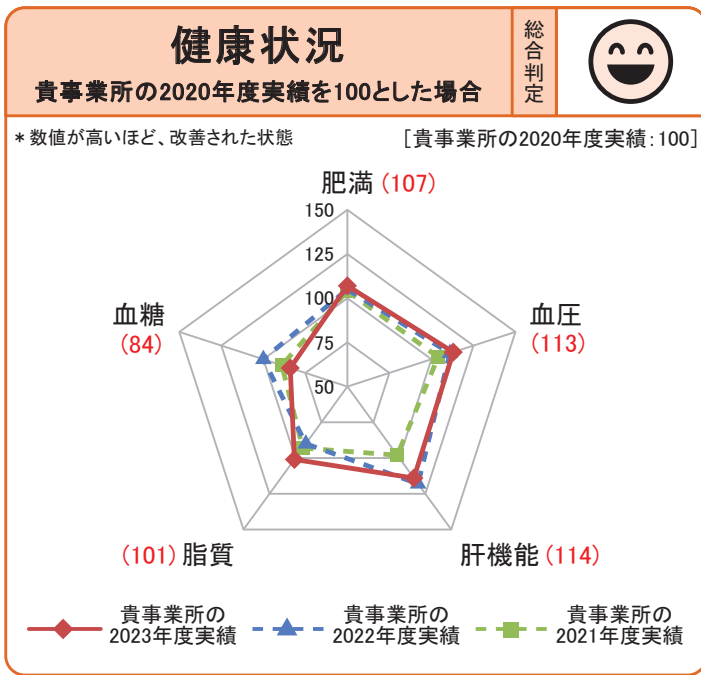
個別事業所 本社分



※ 2023年度に特定健診を受診した者のみのデータを集計。

健康状況の経年変化

項目	区分	2021	2022	2023	判定
		肥満	貴事業所: 84	84	
血圧	貴事業所	83	89	90	
	業態平均	97	96	97	
肝機能	貴事業所	79	92	90	
	業態平均	91	92	92	
脂質	貴事業所	85	80	90	
	業態平均	92	92	93	
血糖	貴事業所	79	90	76	
	業態平均	101	100	99	



健康状況の経年変化

項目	区分	2021	2022	2023	判定
		肥満	貴事業所: 104	105	
血圧	貴事業所	104	111	113	
	業態平均	97	96	97	
肝機能	貴事業所	79	92	90	
	業態平均	91	92	92	
脂質	貴事業所	85	80	90	
	業態平均	92	92	93	
血糖	貴事業所	79	90	76	
	業態平均	101	100	99	

【コラム】血糖コントロール不良者に積極的アプローチを！

HbA1cの検査結果を分類すると、正常値以外の者が全体の43.7%を占めており、服薬ありの場合でもHbA1cの値が高い者がいます。糖尿病は初期症状がほとんどありませんが、HbA1cが高くなるほど動脈硬化が進み、狭心症や心筋梗塞、脳梗塞やくも膜下出血になるリスクが高くなります。また、三大合併症として、網膜症、腎症、神経障害があり、失明や透析につながる病気でもあります。健診受診者のHbA1cの検査結果を確認し、服薬の有無にかかわらず、高値の者には積極的に受診勧奨・重症化予防の取組を実施しましょう。

※ 2022年に特定健診を受診した者のうち、HbA1cの検査結果がある者1,232万人を対象に集計

HbA1c検査値の各区分における服薬の有無別構成割合

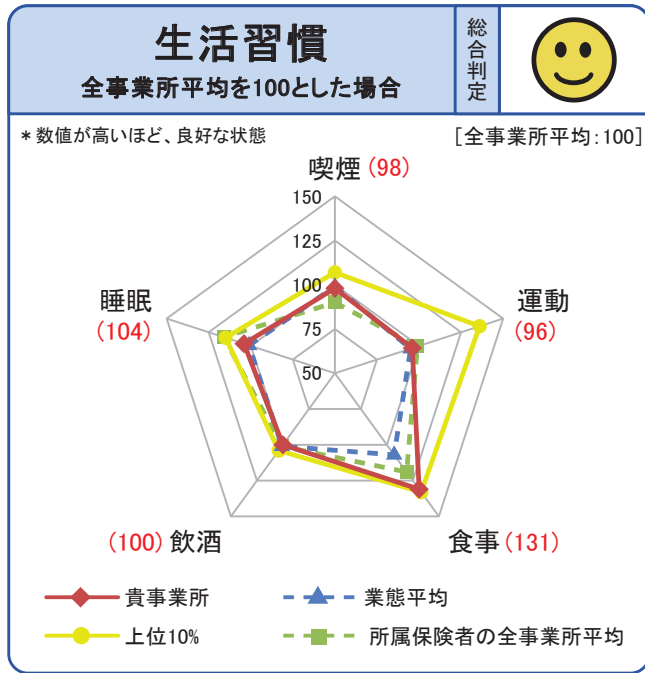
区分	服薬の有無別構成割合		合計
	服薬なし	服薬あり	
HbA1cの検査結果がある者	95.1%	4.9%	100%
糖尿病型の者	7.0%以上(※)	1.0%	2.3%
	6.5%~6.9%	1.3%	1.2%
境界型の者	6.0%~6.4%	7.3%	0.9%
正常高値の者	5.6%~5.9%	29.2%	0.3%
正常値の者	5.5%以下	56.2%	0.1%

※治療中の患者に対しては、合併症予防の観点からHbA1cのコントロール目標は7.0%未満とされている。(「糖尿病診療ガイドライン2024」より)

貴事業所の生活状況(適正な生活習慣を有する者の割合)

個別事業所 本分

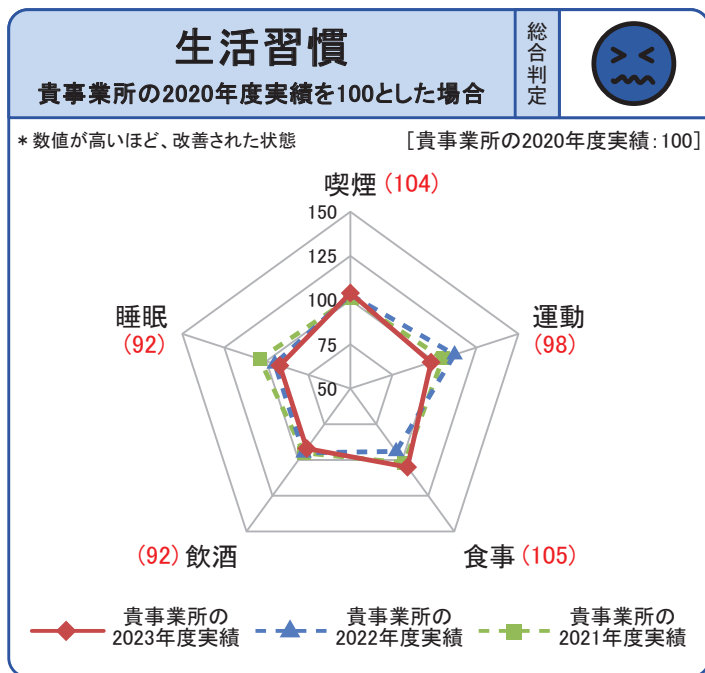
※ 生活習慣データについては、一部任意項目であるため、事業所が保有しているデータのみで構成。



※ 2023年度に特定健診を受診した者のみのデータを集計。

生活習慣の経年変化		2021	2022	2023	ランクUPまで (※1)
喫煙	貴事業所	97	98	98	
	業態平均	99	99	99	
	上位10%	106	107	107	
運動	貴事業所	110	113	96	
	業態平均	94	95	95	
	上位10%	124	126	136	
食事	貴事業所	125	117	131	
	業態平均	108	108	107	
	上位10%	127	126	133	
飲酒	貴事業所	103	103	100	
	業態平均	101	101	101	
	上位10%	101	102	104	
睡眠	貴事業所	113	105	104	
	業態平均	100	101	101	
	上位10%	110	110	115	

※ 上位10%は業態ごとの「総合スコア」が上位10%に入る事業所の各項目の平均値を表す。ただし、業態内の事業所数が20以下の場合には、全事業所の「総合スコア」上位10%の平均値を表示。
 (※1)「ランクUP」は、5段階評価のランクを1つ上げるための目安(リスク対象者を減らす人数)を記載。

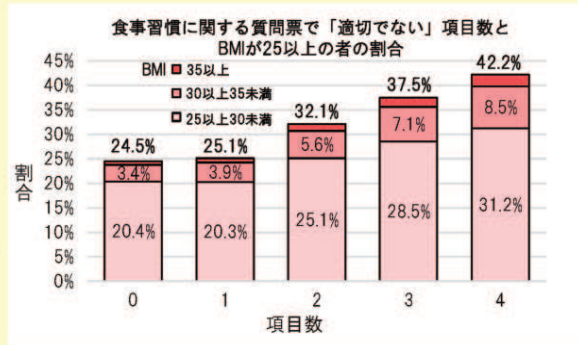


生活習慣の経年変化		2021	2022	2023	
喫煙	貴事業所	101	103	104	
運動	貴事業所	105	112	98	
食事	貴事業所	102	94	105	
飲酒	貴事業所	95	95	92	
睡眠	貴事業所	104	95	92	

【コラム】肥満を予防・改善するために食事習慣を見直しましょう！

肥満の予防・改善には食事習慣や運動習慣などを見直すことが有効とされています。食事習慣に着目した場合、食事習慣に関する質問票4項目について「適切でない」に該当する項目数別にBMIが25以上である者の割合をみると、項目数が2項目以上に増加するにつれて割合も増加しています。肥満は糖尿病や脂質異常症、高血圧症、心血管疾患などの生活習慣病をはじめとした数多くの疾患のリスクを高めます。肥満を予防・改善するために、食事習慣を見直すよう働きかけましょう。

- ※ 2022年度に特定健診を受診した者のうち、食事習慣に関する質問票に回答した者約1,169万人を対象に集計
- ※ 食事習慣に関する質問票4項目のうち、下線部の回答を選択すると「適切でない」に該当する
- 人と比較して食べる速度が速い：「速い」「普通」「遅い」
 - 就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある：「はい」「いいえ」
 - 朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか：「毎日」「時々」「ほとんど摂取しない」
 - 朝食を抜くことが週に3回以上ある：「はい」「いいえ」



(注)【本レポートにおけるデータ対象】

- ・特定健診(健康状況・生活習慣)：40歳～74歳の被保険者。
- ・データが存在しない場合、非表示。計算不能の場合「-」を表示。

1人あたり医療費の推移

医療費

参考：医療費総額(2023年度)

貴事業所

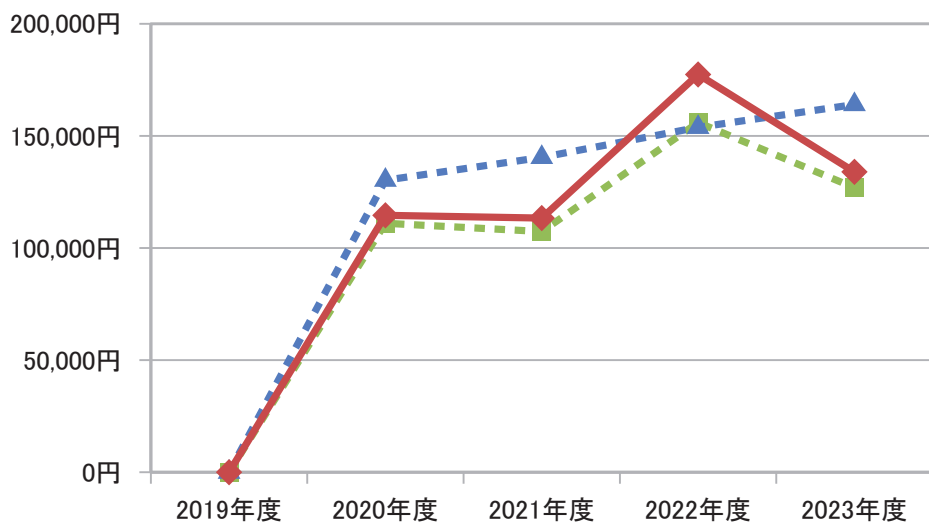
50百万円

◆ 貴事業所

貴事業所の総医療費を貴事業所の加入者数で除した医療費。

-▲- 業態平均

-■- 所属保険者の全事業所平均



1人あたり医療費	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
貴事業所		114,580円	113,356円	177,399円	133,969円
業態平均		130,246円	140,423円	153,822円	163,992円
所属保険者平均		111,043円	107,351円	155,971円	126,906円

※医療費(年間医療費)は70歳未満の被保険者を対象に集計。

※1人あたり医療費は、対象となる被保険者数10名未満の場合「×」を表示。

健康スコアリングレポート

2024年度版

(2023年度実績分)

厚生労働省 日本健康会議 経済産業省

(06141543) 油研工業株式会社袋田工場 様 個別事業所 袋田分 2024年度版(2023年度実績分) 健康スコアリングレポート

* 本レポートは、2021～2023年度のデータに基づいて作成しています。

貴事業所の業態

機械器具製造業

健保組合の保健事業が健康課題の解決策に！

本レポートでは、事業主と健保組合のコミュニケーションの一助となるよう、予防・健康づくりの取組状況や健康状況等を可視化しています。経営者においては、企業の財産である従業員等の健康を守るために、健保組合と連携した従業員等の予防・健康づくりの取組のさらなる推進にご活用ください。なお、健康状況等に関する詳細情報は健保組合にお問い合わせください。



【本レポートで使用する用語の定義】

- 「特定健診」: 特定健康診査 / 「業態」: 事業所における業態(43分類) / 「全事業所」: 特定健診の対象となる被保険者数10名以上の事業所 / 「所属保険者」: 被保険者数10名未満の事業所も含めて算出する所属保険者の被保険者の平均 / 「所属保険者の全事業所平均」: 事業所レポート作成対象(特定健診の対象となる被保険者数10名以上)の事業所のみで算出する平均

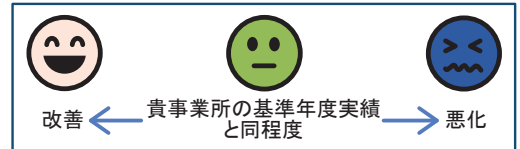
【本レポートにおける顔マーク】

顔マークの詳細については、事業主単位の健康スコアリングレポート活用の手引き「(参考)各指標の算出方法」(参考)事業主単位の健康スコアリングレポートにおける判定基準値表」をご参照ください。

■判定基準値(全事業所平均を100とした場合)



■判定基準値(貴事業所の基準年度実績を100とした場合)



貴事業所の特定健診・特定保健指導の実施状況

特定健診・特定保健指導

総合判定



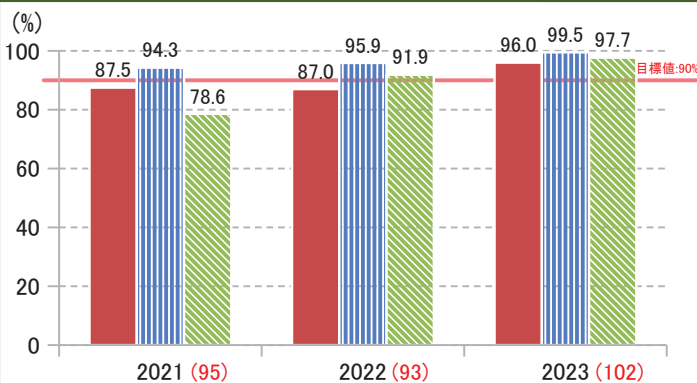
業態別順位

2,266位 / 5,126事業所

特定健診の実施率

1ランクUPまで(*1)

あと1人

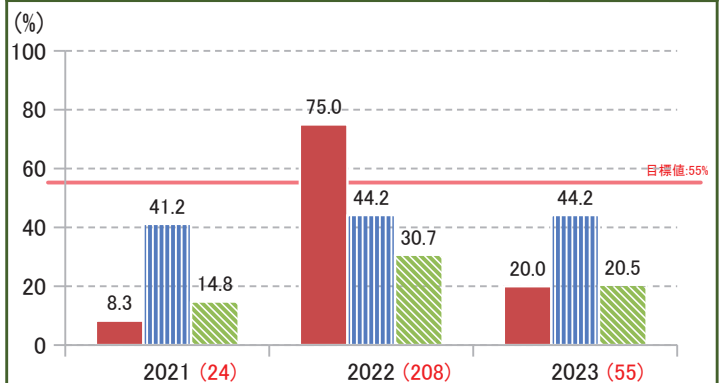


特定健診の実施率	2021	2022	2023
貴事業所	87.5%	87.0%	96.0%
	2,549位 / 3,030	3,004位 / 3,387	2,953位 / 5,213
業態平均	94.3%	95.9%	99.5%
所属保険者	78.6%	91.9%	97.7%

特定保健指導の実施率

1ランクUPまで(*1)

あと1人



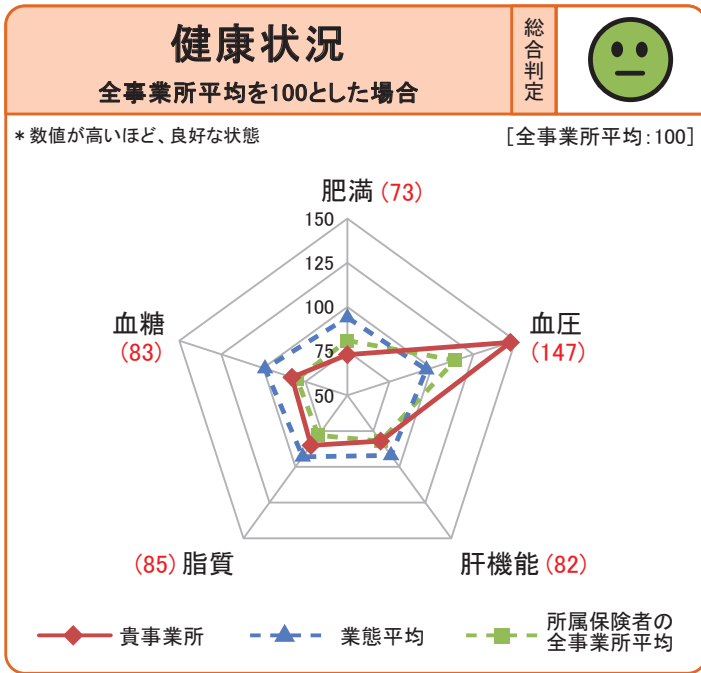
特定保健指導の実施率	2021	2022	2023
貴事業所	8.3%	75.0%	20.0%
	1,781位 / 3,010	518位 / 3,365	2,073位 / 5,126
業態平均	41.2%	44.2%	44.2%
所属保険者	14.8%	30.7%	20.5%

※ 目標値は、第3期(2018～2023年度)特定健康診査等実施計画期間における所属する保険者の種別目標。
 ※ 順位は、業態ごとに事業所のスコアの低い順にランキング。
 ※ ()内の数値は、全事業所平均を100とした際の貴事業所の相対値。
 ※ なお、被扶養者(家族)を含む加入者全体の目標である。
 ※ (*1)「ランクUP」は、5段階評価のランクを1つ上げるための目安(実施人数)を記載

■ 貴事業所 ■ 業態平均 ■ 所属保険者






貴事業所の健康状況(生活習慣病リスク保有者の割合)

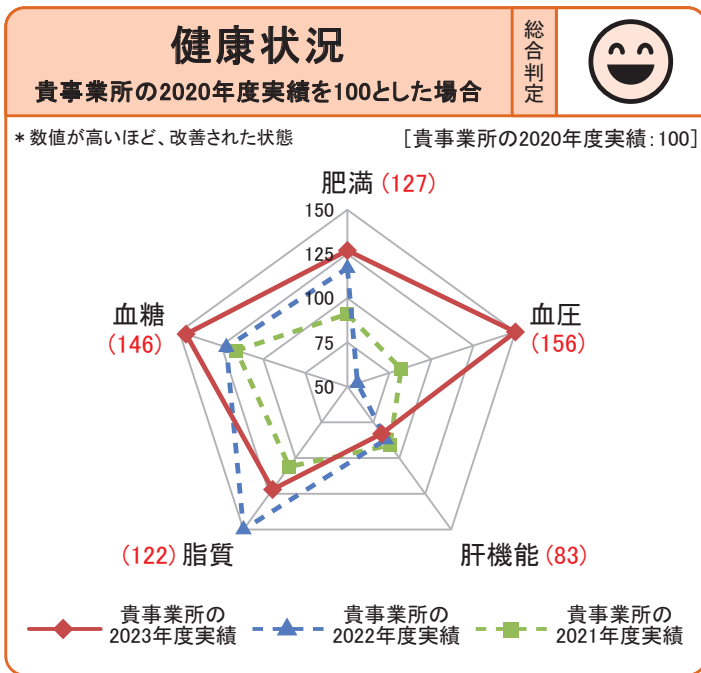
個別事業所 袋田分



※ 2023年度に特定健診を受診した者のみのデータを集計。

健康状況の経年変化

	2021	2022	2023		
肥満	貴事業所	53	68	73	
	業態平均	94	94	94	
血圧	貴事業所	77	53	147	
	業態平均	97	96	97	
肝機能	貴事業所	93	85	82	
	業態平均	91	92	92	
脂質	貴事業所	76	107	85	
	業態平均	92	92	93	
血糖	貴事業所	64	68	83	
	業態平均	101	100	99	



健康状況の経年変化

	2021	2022	2023		
肥満	貴事業所	91	117	127	
血圧	貴事業所	82	56	156	
肝機能	貴事業所	91	87	83	
脂質	貴事業所	106	152	122	
血糖	貴事業所	116	122	146	

【コラム】血糖コントロール不良者に積極的アプローチを！

HbA1cの検査結果を分類すると、正常値以外の者が全体の43.7%を占めており、服薬ありの場合でもHbA1cの値が高い者がいます。糖尿病は初期症状がほとんどありませんが、HbA1cが高くなるほど動脈硬化が進み、狭心症や心筋梗塞、脳梗塞やくも膜下出血になるリスクが高くなります。また、三大合併症として、網膜症、腎症、神経障害があり、失明や透析につながる病気でもあります。健診受診者のHbA1cの検査結果を確認し、服薬の有無にかかわらず、高値の者には積極的に受診勧奨・重症化予防の取組を実施しましょう。

※ 2022年に特定健診を受診した者のうち、HbA1cの検査結果がある者1,232万人を対象に集計

HbA1c検査値の各区分における服薬の有無別構成割合

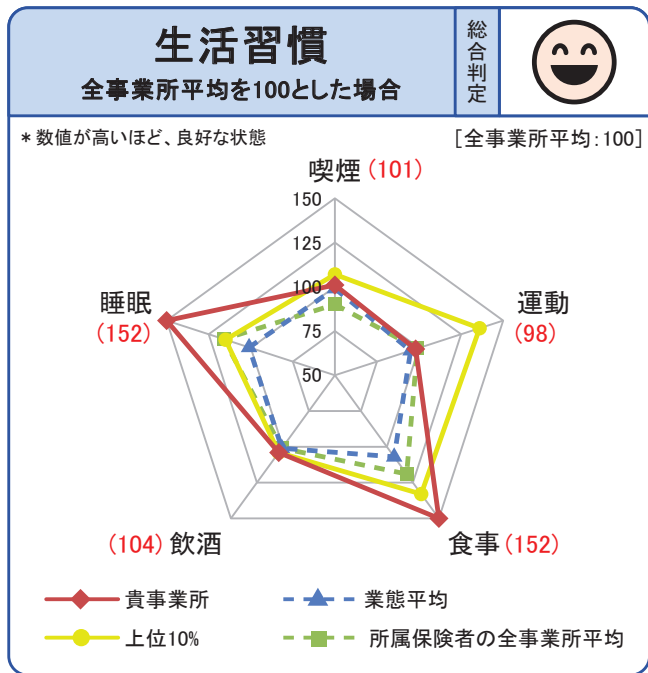
区分	服薬なし	服薬あり	合計	
HbA1cの検査結果がある者	95.1%	4.9%	100%	
糖尿病型の者	7.0%以上(※)	1.0%	2.3%	3.3%
	6.5%~6.9%	1.3%	1.2%	2.6%
境界型の者	6.0%~6.4%	7.3%	0.9%	8.2%
正常高値の者	5.6%~5.9%	29.2%	0.3%	29.5%
正常値の者	5.5%以下	56.2%	0.1%	56.3%

※治療中の患者に対しては、合併症予防の観点からHbA1cのコントロール目標は7.0%未満とされている。(「糖尿病診療ガイドライン2024」より)

貴事業所の生活状況(適正な生活習慣を有する者の割合)

個別事業所 袋田分

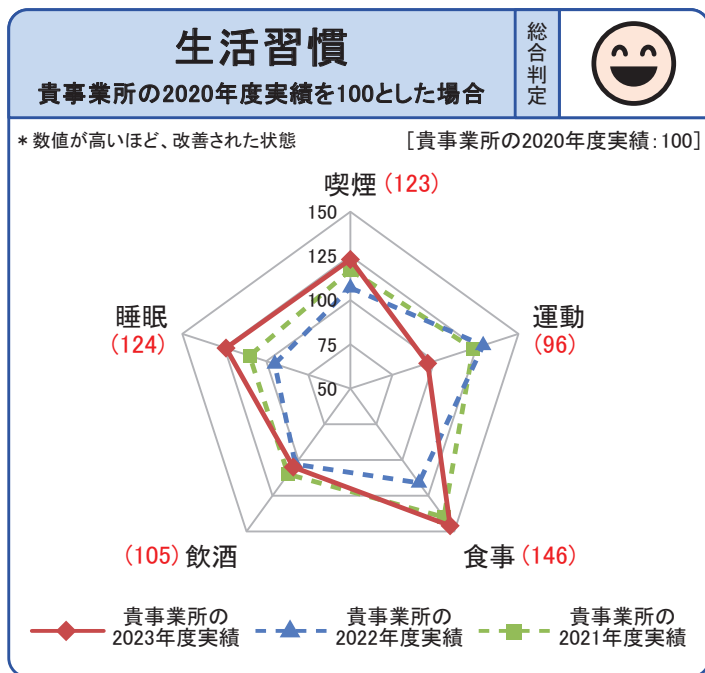
※ 生活習慣データについては、一部任意項目であるため、事業所が保有しているデータのみで構成。



※ 2023年度に特定健診を受診した者のみのデータを集計。

生活習慣の経年変化		2021	2022	2023	ランクUPまで (*1)
喫煙	貴事業所	97	88	101	
	業態平均	99	99	99	
	上位10%	106	107	107	
運動	貴事業所	135	136	98	
	業態平均	94	95	95	
	上位10%	124	126	136	
食事	貴事業所	143	120	152	
	業態平均	108	108	107	
	上位10%	127	126	133	
飲酒	貴事業所	108	101	104	
	業態平均	101	101	101	
	上位10%	101	102	104	
睡眠	貴事業所	129	113	152	
	業態平均	100	101	101	
	上位10%	110	110	115	

※ 上位10%は業態ごとの「総合スコア」が上位10%に入る事業所の各項目の平均値を表す。ただし、業態内の事業所数が20以下の場合は、全事業所の「総合スコア」上位10%の平均値を表示。
(*1)「ランクUP」は、5段階評価のランクを1つ上げるための目安(リスク対象者を減らす人数)を記載。

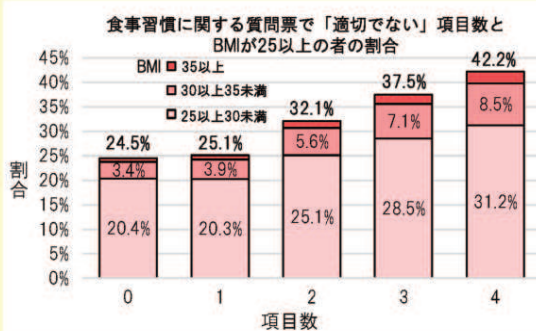


生活習慣の経年変化		2021	2022	2023	
喫煙	貴事業所	117	107	123	
運動	貴事業所	123	129	96	
食事	貴事業所	140	116	146	
飲酒	貴事業所	110	103	105	
睡眠	貴事業所	110	95	124	

【コラム】肥満を予防・改善するために食事習慣を見直しましょう！

肥満の予防・改善には食事習慣や運動習慣などを見直すことが有効とされています。食事習慣に着目した場合、食事習慣に関する質問票4項目について「適切でない」に該当する項目数別にBMIが25以上である者の割合をみると、項目数が2項目以上に増加するにつれて割合も増加しています。肥満は糖尿病や脂質異常症、高血圧症、心血管疾患などの生活習慣病をはじめとした数多くの疾患のリスクを高めます。肥満を予防・改善するために、食事習慣を見直すよう働きかけましょう。

- ※ 2022年度に特定健診を受診した者のうち、食事習慣に関する質問票に回答した者約1,169万人を対象に集計
※ 食事習慣に関する質問票4項目のうち、下線部の回答を選択すると「適切でない」に該当する
- 人と比較して食べる速度が速い：「速い」「普通」「遅い」
 - 就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある：「はい」「いいえ」
 - 朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか：「毎日」「時々」「ほとんど摂取しない」
 - 朝食を抜くことが週に3回以上ある：「はい」「いいえ」



(注)【本レポートにおけるデータ対象】

- ・特定健診(健康状況・生活習慣)：40歳～74歳の被保険者。
- ・データが存在しない場合、非表示。計算不能の場合「-」を表示。

1人あたり医療費の推移

医療費

参考：医療費総額(2023年度)

貴事業所

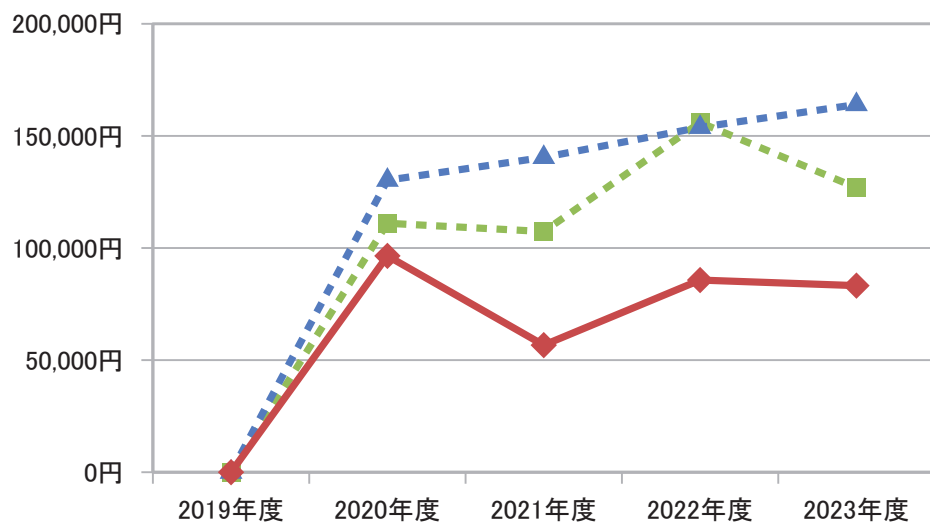
5百万円

◆ 貴事業所

貴事業所の総医療費を貴事業所の加入者数で除した医療費。

-▲- 業態平均

-■- 所属保険者の全事業所平均



1人あたり医療費	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
貴事業所		96,488円	56,684円	85,706円	83,218円
業態平均		130,246円	140,423円	153,822円	163,992円
所属保険者平均		111,043円	107,351円	155,971円	126,906円

※医療費(年間医療費)は70歳未満の被保険者を対象に集計。

※1人あたり医療費は、対象となる被保険者数10名未満の場合「×」を表示。

健康スコアリングレポート

2024年度版

(2023年度実績分)

厚生労働省 日本健康会議 経済産業省

(06141543) 株式会社ユケンサービス 様 個別事業所 YSC分 2024年度版(2023年度実績分) 健康スコアリングレポート

* 本レポートは、2021~2023年度のデータに基づいて作成しています。

貴事業所の業態

専門・技術サービス業

健保組合の保健事業が健康課題の解決策に！

本レポートでは、事業主と健保組合のコミュニケーションの一助となるよう、予防・健康づくりの取組状況や健康状況等を可視化しています。経営者においては、企業の財産である従業員等の健康を守るために、健保組合と連携した従業員等の予防・健康づくりの取組のさらなる推進にご活用ください。なお、健康状況等に関する詳細情報は健保組合にお問い合わせください。



【本レポートで使用する用語の定義】

- 「特定健診」: 特定健康診査 / 「業態」: 事業所における業態(43分類) /
- 「全事業所」: 特定健診の対象となる被保険者数10名以上の事業所 /
- 「所属保険者」: 被保険者数10名未満の事業所も含めて算出する所属保険者の被保険者の平均 /
- 「所属保険者の全事業所平均」: 事業所レポート作成対象(特定健診の対象となる被保険者数10名以上)の事業所のみで算出する平均

【本レポートにおける顔マーク】

顔マークの詳細については、事業主単位の健康スコアリングレポート活用の手引き「(参考)各指標の算出方法」(参考)事業主単位の健康スコアリングレポートにおける判定基準値表」をご参照ください。

■判定基準値(全事業所平均を100とした場合)



■判定基準値(貴事業所の基準年度実績を100とした場合)



貴事業所の特定健診・特定保健指導の実施状況

特定健診・特定保健指導

総合判定



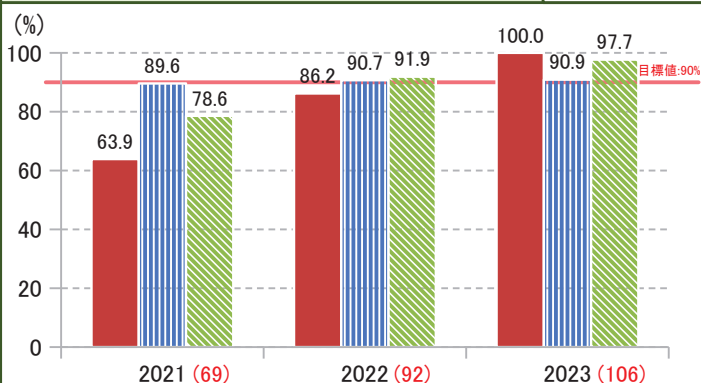
業態別順位

627位 / 1,539事業所

特定健診の実施率

1ランクUPまで(*1)

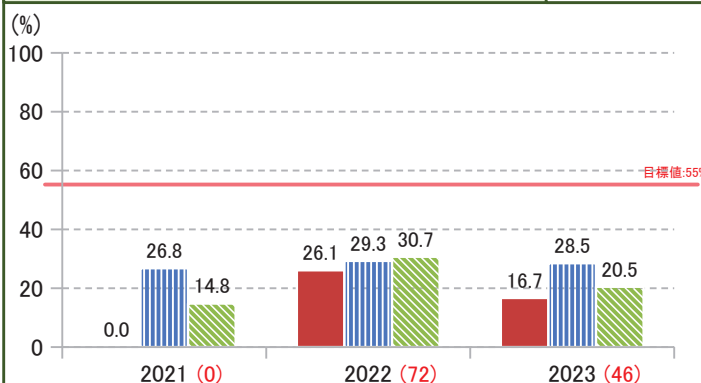
最上位です



特定保健指導の実施率

1ランクUPまで(*1)

あと1人



特定健診の実施率	2021	2022	2023
貴事業所	63.9%	86.2%	100.0%
	746位 / 796	667位 / 853	116位 / 1,614
業態平均	89.6%	90.7%	90.9%
所属保険者	78.6%	91.9%	97.7%

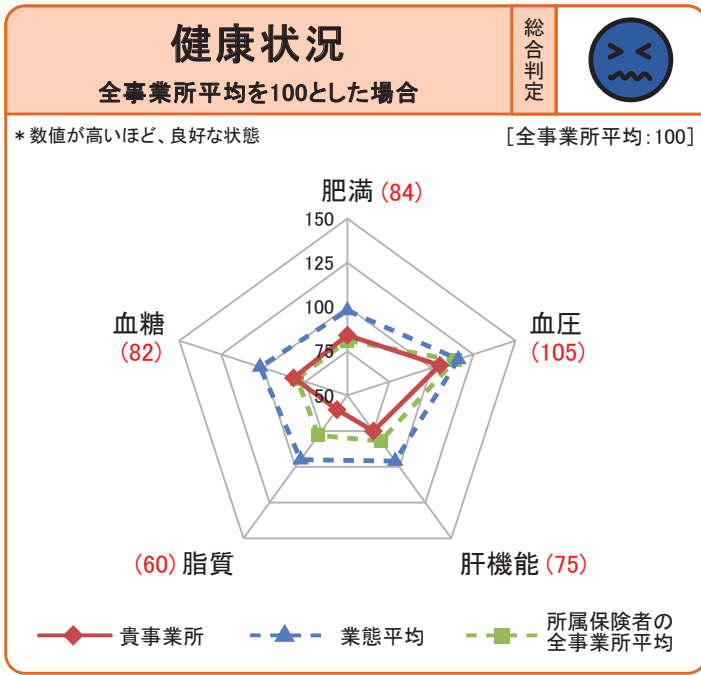
特定保健指導の実施率	2021	2022	2023
貴事業所	0.0%	26.1%	16.7%
	544位 / 790	331位 / 840	659位 / 1,539
業態平均	26.8%	29.3%	28.5%
所属保険者	14.8%	30.7%	20.5%

※ 目標値は、第3期(2018~2023年度)特定健康診査等実施計画期間における所属する保険者の種別目標。
 ※ 順位は、業態ごとに事業所のスコアの低い順にランキング。
 ※ ()内の数値は、全事業所平均を100とした際の貴事業所の相対値。
 ※ なお、被扶養者(家族)を含む加入者全体の目標である。
 ※ (*1)「ランクUP」は、5段階評価のランクを1つ上げるための目安(実施人数)を記載

■ 貴事業所 ■ 業態平均 ■ 所属保険者






貴事業所の健康状況(生活習慣病リスク保有者の割合)

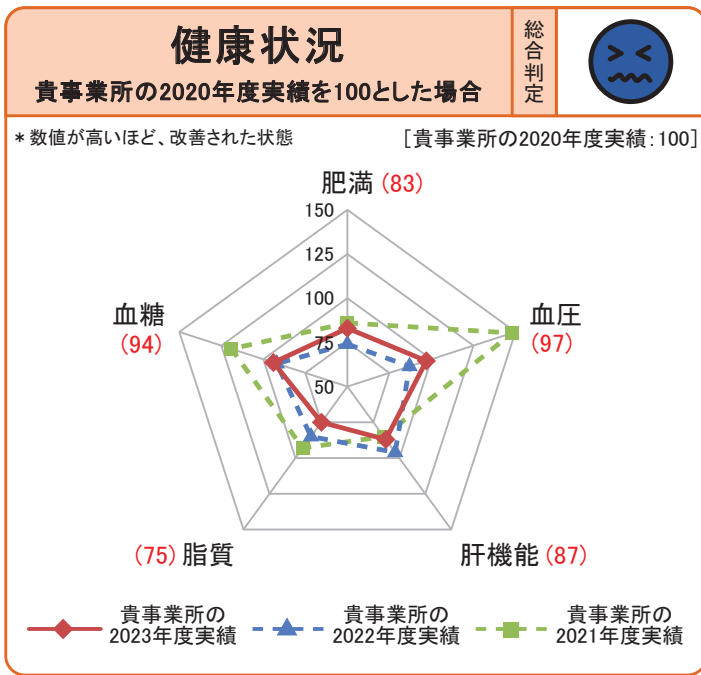
個別事業所 YSC分



※ 2023年度に特定健診を受診した者のみのデータを集計。

健康状況の経年変化

		2021	2022	2023	
肥満	貴事業所	88	75	84	
	業態平均	97	98	98	
血圧	貴事業所	158	94	105	
	業態平均	115	116	116	
肝機能	貴事業所	77	83	75	
	業態平均	94	95	96	
脂質	貴事業所	77	69	60	
	業態平均	94	94	95	
血糖	貴事業所	101	80	82	
	業態平均	101	99	102	



健康状況の経年変化

		2021	2022	2023	
肥満	貴事業所	86	74	83	
	業態平均	97	98	98	
血圧	貴事業所	148	87	97	
	業態平均	115	116	116	
肝機能	貴事業所	85	96	87	
	業態平均	94	95	96	
脂質	貴事業所	93	85	75	
	業態平均	94	94	95	
血糖	貴事業所	119	92	94	
	業態平均	101	99	102	

【コラム】血糖コントロール不良者に積極的アプローチを！

HbA1cの検査結果を分類すると、正常値以外の者が全体の43.7%を占めており、服薬ありの場合でもHbA1cの値が高い者がいます。糖尿病は初期症状がほとんどありませんが、HbA1cが高くなるほど動脈硬化が進み、狭心症や心筋梗塞、脳梗塞やくも膜下出血になるリスクが高くなります。また、三大合併症として、網膜症、腎症、神経障害があり、失明や透析につながる病気でもあります。健診受診者のHbA1cの検査結果を確認し、服薬の有無にかかわらず、高値の者には積極的に受診勧奨・重症化予防の取組を実施しましょう。

※ 2022年に特定健診を受診した者のうち、HbA1cの検査結果がある者1,232万人を対象に集計

HbA1c検査値の各区分における服薬の有無別構成割合

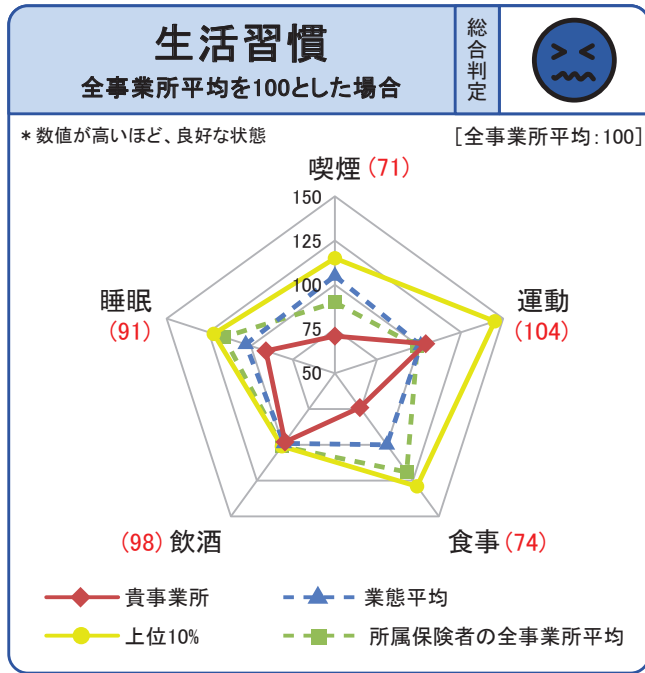
区分	服薬なし	服薬あり	合計
HbA1cの検査結果がある者	95.1%	4.9%	100%
糖尿病型の者	7.0%以上(※)	1.0%	2.3%
	6.5%~6.9%	1.3%	1.2%
境界型の者	6.0%~6.4%	7.3%	0.9%
正常高値の者	5.6%~5.9%	29.2%	0.3%
正常値の者	5.5%以下	56.2%	0.1%

※治療中の患者に対しては、合併症予防の観点からHbA1cのコントロール目標は7.0%未満とされている。(「糖尿病診療ガイドライン2024」より)






貴事業所の生活状況(適正な生活習慣を有する者の割合)

個別事業所 YSC分

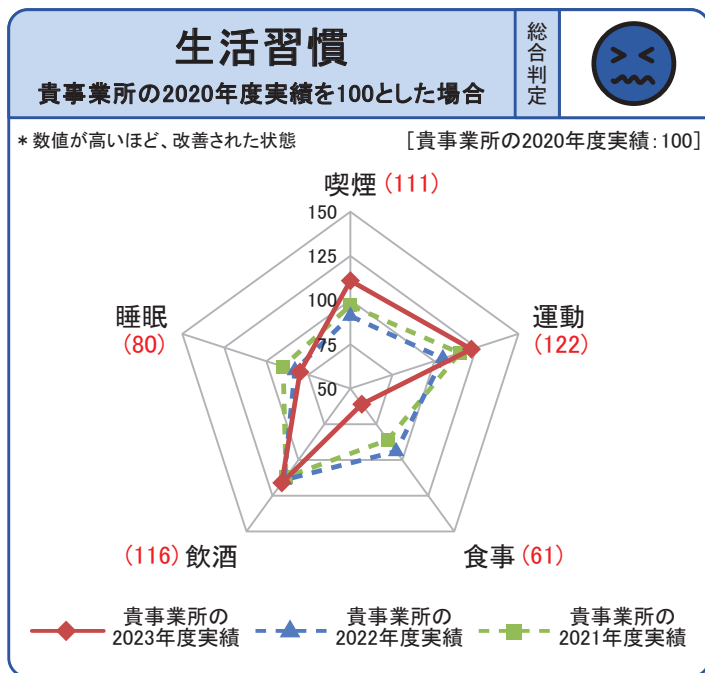
※ 生活習慣データについては、一部任意項目であるため、事業所が保有しているデータのみで構成。





※ 2023年度に特定健診を受診した者のみのデータを集計。

生活習慣の経年変化		2021	2022	2023	ランクUPまで (*1)
喫煙	貴事業所	63	58	71	 あと5人
	業態平均	105	105	105	
	上位10%	114	115	115	
運動	貴事業所	105	92	104	 あと3人
	業態平均	101	99	101	
	上位10%	143	140	145	
食事	貴事業所	101	112	74	 あと1人
	業態平均	101	101	100	
	上位10%	124	132	129	
飲酒	貴事業所	94	96	98	 あと1人
	業態平均	99	99	99	
	上位10%	101	102	101	
睡眠	貴事業所	98	92	91	 あと1人
	業態平均	104	103	103	
	上位10%	118	118	122	

※ 上位10%は業態ごとの「総合スコア」が上位10%に入る事業所の各項目の平均値を表す。ただし、業態内の事業所数が20以下の場合には、全事業所の「総合スコア」上位10%の平均値を表示。
(*1)「ランクUP」は、5段階評価のランクを1つ上げるための目安(リスク対象者を減らす人数)を記載。

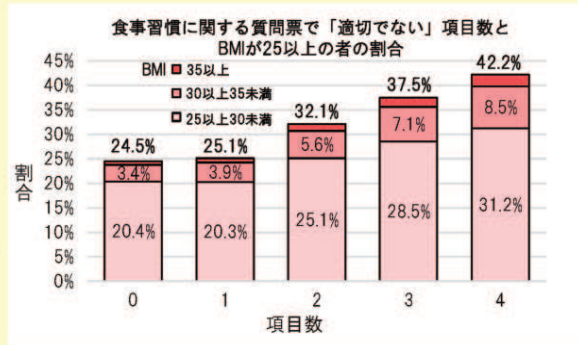


生活習慣の経年変化		2021	2022	2023	
喫煙	貴事業所	97	91	111	
運動	貴事業所	115	105	122	
食事	貴事業所	86	94	61	
飲酒	貴事業所	112	114	116	
睡眠	貴事業所	90	83	80	

【コラム】肥満を予防・改善するために食事習慣を見直しましょう！

肥満の予防・改善には食事習慣や運動習慣などを見直すことが有効とされています。食事習慣に着目した場合、食事習慣に関する質問票4項目について「適切でない」に該当する項目数別にBMIが25以上である者の割合をみると、項目数が2項目以上に増加するにつれて割合も増加しています。肥満は糖尿病や脂質異常症、高血圧症、心血管疾患などの生活習慣病をはじめとした数多くの疾患のリスクを高めます。肥満を予防・改善するために、食事習慣を見直すよう働きかけましょう。

- ※ 2022年度に特定健診を受診した者のうち、食事習慣に関する質問票に回答した者約1,169万人を対象に集計
- ※ 食事習慣に関する質問票4項目のうち、下線部の回答を選択すると「適切でない」に該当する
- 人と比較して食べる速度が速い：「速い」「普通」「遅い」
 - 就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある：「はい」「いいえ」
 - 朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか：「毎日」「時々」「ほとんど摂取しない」
 - 朝食を抜くことが週に3回以上ある：「はい」「いいえ」



(注)【本レポートにおけるデータ対象】

- ・特定健診(健康状況・生活習慣)：40歳～74歳の被保険者。
- ・データが存在しない場合、非表示。計算不能の場合「-」を表示。

1人あたり医療費の推移

医療費

参考：医療費総額(2023年度)

貴事業所

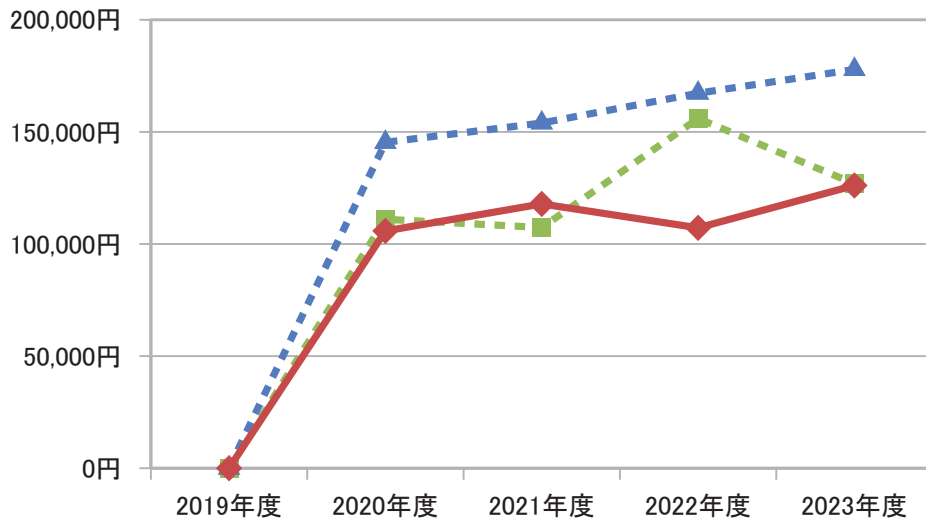
9百万円

◆ 貴事業所

貴事業所の総医療費を貴事業所の加入者数で除した医療費。

-▲- 業態平均

-■- 所属保険者の全事業所平均



1人あたり医療費	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
貴事業所		105,836円	117,878円	107,216円	126,113円
業態平均		145,349円	153,968円	167,255円	177,860円
所属保険者平均		111,043円	107,351円	155,971円	126,906円

※医療費(年間医療費)は70歳未満の被保険者を対象に集計。

※1人あたり医療費は、対象となる被保険者数10名未満の場合「×」を表示。

健康スコアリングレポート

2024年度版

(2023年度実績分)

厚生労働省 日本健康会議 経済産業省